

福井大学 (福井県)

学校の課題を実践的に解決し、高い教師力を目指す

◇大学紹介

①大学の概要

本学は、教育学部、医学部、工学部、国際地域学部の4学部及び大学院福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学連合教職開発研究科（以下、教職大学院）、大学院医学系研究科、大学院工学研究科、大学院国際地域マネジメント研究科の4研究科からなる。教員研修留学生が所属する教職大学院には、教職開発専攻がある。福井県は、日本のほぼ中央に位置し、美しい自然と豊かな文化遺産に恵まれたところである。日本海に面し、古くは大陸諸国と都を結ぶ玄関口として重要な位置を占め、その長い歴史と伝統、そして四季折々の変化に富んだ美しい自然は、日本の典型的な風情を漂わせている。



②国際交流の実績

・過去3年間の留学生の受け入れ実績
2025年度：193名
2024年度：175名
2023年度：163名

・過去3年間の教員研修留学生の受け入れ実績

2025年度：3名
2024年度：4名
2023年度：0名

◇教員研修コースの概要・特色

①研修コースの特色

学校の課題に協働で継続的に取り組み、省察的実践力を通じた専門的力量を形成する。

②受入定員 3名

③奨学金支給期間 2026年10月～2028年3月

④コースの修了要件

・日本語教育
以下の日本語研修コースの科目を受講する。

日本語科目
日本文化体験
修了研究
修了研究演習

日本語科目については、日本語レベルに応じて科目を選択し、受講する。
修了課題として、2027年2月に日本語によるポスター発表を行う。



日本語研修コース
修了証書授与

・専門教育

学校における実習・ふり返り・記録の作成を必須とし、2028年2月までに指導教員への研究レポートの提出及び研究成果について発表を行う。
本学教職大学院1年次における24単位相当の学修に取り組む。

⑤研修コースの概要

・日本語教育
グローバル人材育成研究センター
期 間：2026年10月～2027年3月
概 要：日本語研修コースにて6ヵ月間の日本語集中授業を行う

期間：2027年4月～2028年3月

概要：日本語学習の継続を希望する者は、留学生向け日本語科目を受講することができる。

・専門教育

期間：2027年4月～2028年3月

- 教職大学院の拠点校で研究テーマに関わる実践研究（授業参観・記録作成等）に取り組む。
- 指導教員と定期的かつ継続的に省察カンファレンスを行いながら、長期実践研究報告書をまとめる。
- 作成した報告書をもとに、年に2回（6月・2月）開催される実践研究交流集会（ラウンドテーブル）にて、中間報告と最終報告を行う。

- ・日本人学生との共修の機会
教職大学院では、月に一度、指導教員・日本人学生・留学生を交えたカンファレンスを行い、国籍・世代・校種を超えた教職専門性の開発・発展を支援する。

◇修了生へのフォローアップ

本学では、留学生同窓会をアジアを中心に現在までに19支部設立し、各国支部と連携している。その活動を推進するために、グローバル・エンゲージメント推進本部ネットワーク誌「こころねっと」を発行し、帰国留学生と情報交換を行っている。

◇宿 舎

【福井大学留学生会館】

- ・入居期間：半年間（2026年10月～2027年3月）
※2027年4月～2028年3月は民間アパートへの入居となる。ただし、寮の入居状況により2026年10月から民間アパートへの入居になる可能性がある。

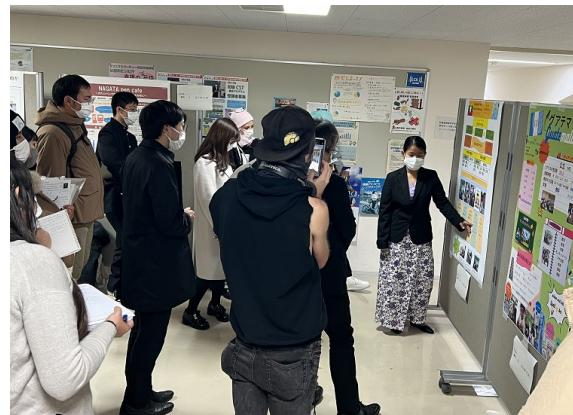
- ・入寮費： 20,000円
- ・共益費： 3,000円/月
(水道光熱費は別途)
- （インターネットは別途契約）
- ・寄宿料：
居室A 14,600円/月
居室B 17,400円/月
- ・宿舎設備・備品：ミニキッチン、ユニットバス、トイレ、机、イス、ベッド、冷蔵庫、本棚、スタンド、エアコン等



- ・共用設備：洗濯機、乾燥機（各1回100円）
- ・宿舎は自分の居室を含め全館禁煙
- ・宿舎周辺の生活情報・通学時間：
留学生会館からキャンパスまで徒歩7分。最寄駅までは徒歩3分。周辺にはスーパー・コンビニ、銀行、郵便局などがある。



日本文化体験（小物手織り体験）



ラウンドテーブルでのポスター発表



教員研修修了証書授与

◇問合せ先

<担当部署>
福井大学学務部国際課



住所:〒910-8507
福井県福井市文京3-9-1

TEL: +81-776-27-8405(直通)
FAX: +81-776-27-9715
Email: gk-iadexchange@ml.u-fukui.ac.jp

<ウェブサイト>
福井大学のホームページ:
<https://www.u-fukui.ac.jp/>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

受入研究科等名	福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学連合教職開発研究科				研修の内容	研修の対象者	使用言語	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
コースコード	教員名	メールアドレス	分野						
20001	木村 優 教授	u-kimura@u-fukui.ac.jp	教職開発 教育方法学 心理・教育学			<input type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()			
20002	岸野 麻衣 教授	m-kisino@f-edu.u-fukui.ac.jp	教職開発 幼児教育			<input type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()			
20003	半原 芳子 教授	yoshikoh@u-fukui.ac.jp	教職開発 言語教育			<input type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()			
20004	笹原 未来 准教授	sasahara@u-fukui.ac.jp	教職開発 障害児教育(学)			<input type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()			
20005	高阪 将人 准教授	kosaka@u-fukui.ac.jp	教職開発 理数教育			<input type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()			
20006	焦瀬 悠里 准教授	y-hayase@u-fukui.ac.jp	教職開発 教育科学			<input type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()			
20007	遠藤 貴広 准教授	endo@u-fukui.ac.jp	教職開発 教育方法学 カリキュラム開発			<input type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()			
20008	ヤスミーン サーミー ^{ガマールエルディーン} モスタファ 准教授	vmostafa@u-fukui.ac.jp	教職開発			<input type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()			
20009	宮本 雄太 准教授	yuta-mt@u-fukui.ac.jp	教職開発 幼児教育			<input type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()			
						<input type="checkbox"/> 小学校教員 <input checked="" type="checkbox"/> 中高教員 <input type="checkbox"/> その他()			

※「研修の対象者」は該当する方(両方に該当する場合は両方)に☑を付けてください。

英語、日本語 3名

- ・当該国で小・中・高等で教員歴があること。
- ・日本の学校教育にかかることから、日本語習得済み、もしくは期間中に日本語を習得する意思のあること。
- ・帰国後は当該国での教育及び教師教育に貢献する意思のあること。
- ・帰国後、当該国と日本の教師教育研究の交流に尽力する意思のあること。
- (ブータン1名、メキシコ2名、ナミビア共和国1名、ミャンマー1名、グアテマラ1名、フィリピン2名、マレーシア1名、アルゼンチン1名、ポツワナ1名、インド1名、パキスタン1名: 計13名)